

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-3-1		事業名	札幌スタイル推進事業
担当	経済局産業振興部ものづくり産業課 上原 Ta211-2362			
全体計画				
事業内容	市内中小企業が、札幌の高い都市イメージとデザインを活用し、異分野連携等とおして商品開発力の向上と販売力の強化を図るとともに、官民連携のもと、次世代のライフスタイルを提案する「札幌スタイル」という新しい価値の創造に取り組み、国内外の市場や生活者に対し付加価値の高い商品やサービスを提供することで地域経済の活性化につなげる。		＜年度別の事業内容＞	
	①「札幌スタイル」の構想 ・トータルプロデュース会議の開催 ②「札幌スタイル」の発見・創造 ・認証制度の実施 ・プロポーザル型デザインコンペの開催 等 ③「札幌スタイル」の可視化(具現化) ・コンペ入賞作品製品化 ・デザイナーと企業のマッチング支援 ・産学官連携プロジェクトの推進 等 ④「札幌スタイル」の価値伝達(販路拡大支援) ・首都圏の商談会への出展支援 ・ショーケース、札幌スタイルショップ、Web等を活用した販路拡大支援・セミナー開催 等		19年度 ・デザイン会議の開催 ・札幌スタイル情報発信事業 ・産学官連携推進事業(コンペ製品化サポート等) 20年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業 ・産学官連携推進事業 ・札幌スタイル・デザインコンペティション開催 21年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業 ・札幌スタイル発信事業 ・産学官連携推進事業(コンペ製品化サポート等) 22年度 ・(仮称)札幌スタイルプロデュース会議の開催 ・認証事業 ・産学官連携推進事業 ・札幌スタイル・デザインコンペティション開催	
事業内容	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	・札幌スタイル・デザイン会議の開催 産学官で構成する有識者会議により、これまでの事業成果と課題を検討。今後の中長期的な方向性をとりまとめた「札幌スタイル推進戦略」の提言を受けた。 ・デザインコンペティション入賞作品製品化支援事業 デザインコンペティション2006入賞作品の製品化を支援した。 ・札幌スタイル発信事業 デザインギャラリー(丸井今井南館)及びショーケース(地下鉄大通駅コンコース)の運営や、Webを活用して、札幌スタイルの情報を発信し、認証商品の販路拡大を支援したほか、各種セミナーを開催し札幌スタイルの認知度の向上に取り組んだ。 ・デザイン開発プロジェクト 産学官で構成するデザインを活用した商品開発プロジェクトを運営。 ・札幌スタイル認証事業 道内外における展示会、商談会に出展し、認証商品の販路拡大を支援した。 ・デザイン・インターンシップ事業 デザイン系の人材育成と地元定着を目的としたインターンシップを開催した。 ・ギャラリー移転準備 デザインギャラリーの移転に向け、丸井今井南館からの撤収と移転後ショップの設計等開設準備を行った。 ・ユニバーサルデザイン推進支援事業 ユニバーサルデザインの普及啓発と福祉用具の販路拡大を目的とした「らくらくフェア」を開催した。		・札幌スタイルのコンセプト再構築、ブランドイメージの一貫性確保、戦略的プロモーション推進のため、「札幌スタイル推進会議」を設置した。 ・同会議内に「ブランドマネジメント委員会」、「認証審査部会」、「認証製品販路拡大支援部会」を設け、地域資源の分析、コンセプト具現化、認証基準及び審査方法の見直しや販路拡大支援に着手した。 ・新たな認証基準のもと、新規10製品、更新50製品を認証した。 ・「デザインコンペティション2008」を実施し、入賞作品として20作品を選定した。平成21年度に市内企業とのマッチング事業等を実施し、製品化を目指す。 ・「デザイン開発プロジェクト」を実施し、審査により3件を採択した。 平成21年度の商品化に向けて取組みを開始した。 ・JRタワーに「札幌スタイルショップ」を開設した。 ・「札幌スタイル・ショーケース」で、認証製品等の企画展を9回開催した。 ・市民、企業等で構成する「札幌スタイル・ホームページ運営委員会」を月1回開催した。 ・インターナショナル・ギフト・ショーへの出展、百貨店・ホテルでの展示販売を行った。 ・ユニバーサルデザインの普及啓発、機能性とデザイン性を兼ね備えた福祉製品の販路拡大や需要喚起のため、「らくらくフェア2008」の開催を支援。 ・北海道で生まれたデザインの魅力と可能性を内外に発信することによる、産業や地域の活性化を目的とした「札幌デザインウィーク2008」の開催を支援。	
規模	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(決算)	
	・札幌スタイル推進会議内の「ブランドマネジメント委員会」、「認証審査部会」、「認証製品販路拡大支援部会」において、札幌スタイルロゴマーク使用規約及びマニュアル、札幌スタイルコーナー設置判断基準の策定、札幌スタイル認証基準及び審査方法の改正などを実施。新規19製品、追加14製品を認証した。 ・「札幌スタイルショップ」を管理運営し、札幌スタイルの情報発信と、認証製品の販売を行った。 ・「札幌スタイル・ショーケース」を管理運営し、利用を希望する企業等に対して交代で貸し出し、季節や時期に合わせた認証製品を紹介した。 ・市民、企業等で構成する「札幌スタイル・ホームページ運営委員会」を月1回開催し、魅力的な情報発信の充実に努めた。 ・東京インターナショナル・ギフト・ショーへの出展、百貨店やテストマーケティングショップでの展示販売、ホテルや新千歳空港、ギャラリーでの常設販売。 ・「デザインコンペティション2008」入賞作品の製品化支援として、市内企業2,300社への情報提供・意向調査、パネル展や商談会でのマッチング事業等を実施し、20作品のうち、3作品の製品化に成功。 ・「デザイン開発プロジェクト」20年度採択案件について、案件ごとに産学官連携のワーキンググループを編成し、3案件のうち2件の製品化に成功。残り1案件も22年度に製品化予定。		・「札幌スタイル推進会議」内の「ブランドマネジメント委員会」において、民間主導の運営体制に向けた検討、販路拡大に向けた流通機能の課題整理、札幌スタイル認証基準及び審査方法の改正などを実施。「認証審査部会」において、新規13製品、追加1製品を認証した。 ・「札幌スタイルショップ」を管理運営し、札幌スタイルの情報発信と、認証製品の販売を行った。 ・「札幌スタイル・ショーケース」を管理運営し、利用を希望する企業等に対して月交代で貸し出し、季節や時期に合わせた認証製品を紹介した。 ・札幌スタイル公式ホームページを開設した。認証製品を持つ企業等で構成する「札幌スタイル・ホームページ運営会議」を月1回開催し、魅力的な情報発信の充実に努めた。 ・東京インターナショナル・ギフト・ショーへの出展、道外百貨店等での展示販売、さっぽろ雪まつり会場特別ブースでの企画展、ホテルや新千歳空港、ギャラリー等での常設販売。 ・デザイン産業の振興及び経済の活性化を図るため、市内のデザイナー、建築家、デザイン関係団体が多数参加する「札幌デザインウィーク2010」の開催を支援。併せて札幌スタイルを周知するための企画展も実施。	
件数等				

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-3-1		事業名	札幌スタイル推進事業			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)
認証製品数(累計)		56件	56件	97件	130件	141件	100件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 札幌スタイルの事業PR等を目的に、札幌スタイル認証製品を持つ企業等を主とした札幌スタイルホームページ運営会議を開催し、公式ホームページの内容を決定している。行政のみではなく、札幌スタイルに関わる様々な当事者の目線を組み込んだ情報の発信に努めている。その結果、認知度向上のみにとどまらず、同運営会議をきっかけとした企業間の連携による商品開発やイベント開催が実現している。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力] 本事業の実施により、札幌スタイル認証製品のPR・販路拡大等が図られ、売上げ増加に貢献している。 [人材協力] 本事業の実施により、必要に応じたデザイナー、製造者、販売者のマッチングを行い、課題解決に寄与している。 [情報協力] 「札幌スタイル・ホームページ運営会議」をはじめ、各委員会や部会等の意見・情報をフィードバックし、共有している。 [その他の協力] 異業種間の連携を促進し、新たなネットワーク構築に取り組んでいる。</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり 札幌スタイルのイメージを伝える冊子の配布や、公式ホームページをとおしてイベント情報を広く公開する等、市民、企業の事業参加を促している。</p>							
評価(成果)				課題			
<p>当該事業の実施により、異業種企業・人材間の連携によって、札幌の都市イメージ等を活用した製品が道内外で流通し、売上が増加するなどの成功事例が複数あり、外需の獲得と道内取引の拡大や域内消費の拡充に向けた取り組みとなっている。</p> <p><具体例> ●受注生産主体であった企業が、当該事業に参画したことで販路が拡大され、新規取引先の獲得や、企業ステータスの向上に成功 ●札幌スタイルを通じて異業種と連携し、企業としての技術や企画の幅を広げた ●地元に顧客がいなかったが、札幌スタイルを通じて札幌市民の顧客を獲得した ●認証をきっかけにテレビやラジオなどのメディアで紹介され、売上が増加。生産増に対応するためアルバイトを雇用し、個人事業主から株式会社へ移行した ●札幌スタイルの認知度向上に伴い、札幌スタイル認証製品を商品群として取り扱う事例が増加。市内ホテル、新千歳空港、ギャラリー等に「札幌スタイルコーナー」が常設された</p>				<p>●「札幌スタイル」のブランド名が市民に浸透しているとは言えない状況であるため認知度の向上が課題である。</p> <p>●民間主導での活動移行に向けた検討 ブランドを永続的に活用し、ビジネスモデルとして確立していくために、現在の行政主導の運営方式から、民間が主導的な運営を担い、行政が後押しをする方式に移行する必要がある、運営体制、方法等について検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>21年度までは、ブランドの認知度向上を目的として、ブランドを形成する製品づくりに主眼を置き、製品開発支援を重点項目として事業を進めてきた。その結果、認知度の向上に伴い、認証製品群の中から札幌スタイルを代表する製品も誕生しており、ブランドの核が形成されつつある。</p> <p>22年度は、ブランドの認知度・競争力の更なる強化、企業の収益モデルの確立を目的として、①道外でのブランド単独での商談会・企画展の開催拡大 ②札幌スタイル公式ホームページの開設等を通じて、認証製品群のプロモーション支援に重点項目を移行した。</p> <p>23年度からは、22年度までの全面的な行政主導から、行政の一定の関与は残しつつも、販路拡大に関わる部分を民間主導での活動に移行する。また、将来的な官民の役割分担、運営体制のあり方について、認証製品を持つ企業等で構成される任意団体「札幌スタイル機構」と協議のうえ、事業主体を段階的に民間主導へ移行することについて慎重に方策を検討する。</p>							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-3-1			事業名	札幌スタイル推進事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	26,100	23,900	19,000	24,000	93,000				
予算	事業費	26,100	23,490	21,850	19,851	91,291				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	26,100	23,490	21,850	19,851	91,291				
実績	事業費	33,114	26,763	21,918	18,528	100,323				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	33,114	26,763	21,918	18,528	100,323				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					107.9%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度] 札幌スタイル・デザインギャラリーについて、情報発信機能を高めるため、より集客力の高いJRタワーへ移転することとして、設置していた丸井今井南館におけるギャラリーの撤収及び新拠点としての札幌スタイルショップ開設に向けた準備を行なったことにより、計画していた事業費との差異が生じた。										
[20年度]										
[21年度]										
[22年度]										